

地域の昆虫方言を残そう

地域の方々がそれぞれの生きものをどのように呼んでいたのか、それは時代と共に変化します。記録しておかなければ使われなくなり、世間から消えてしまう、そんな昆虫の方言名を集めてみませんか？

鹿児島県では昭和 35 年に鹿児島県立博物館が方言名集を作製していますが、それ以後は確認できていません。地域の年配の方々をインタビューし、地域ごとの呼び方の違いをまとめてみましょう。今しかできない調査ですし、時が経てば経つほど情報が少なくなる題材です。

1. 面白い理由

- (1) たとえば、鹿児島県ではスズメバチ科オオスズメバチも、ミツバチ科クマバチも、同じように『くまばっ』と呼んでいました。このことを知らないと、「クマバチに刺された」という状況がうまく伝わりません。
- (2) トンボのことを、伊座敷では「ぐあ」と呼び、佐多では「ぼうり」と呼ぶそうです。地域の呼び方の違いが、山や川で区切られているのか、古い行政区分で分けられているのか、その地域によって異なる可能性があります。

2. 1960 年（昭和 35 年）の結果

表に 1960 年の冊子に記載されている呼び方を一覽で載せました。226 種類の昆虫に対して調査したようですが、記述がないもの、あるいは複数種を同じ呼び方で区別していないものなどがあります。地域ごとの呼び方については、指宿などのごく限られた地名が上げられているだけです。

3. 方言名の調査に必要な準備

(1) 地域の方言に詳しい方にインタビューを依頼する

地域の集会や学校の同窓会、PTA の集まりなどで、地域の方言に詳しい方と面識を持ち、インタビューのお願いをしましょう。地域の同窓会には、自身は方言を使わなくても、詳しい方をご存じの方がいると思われれます。

(2) どんな種類について聞くか

いきなり「全ての虫の呼び方を教えて」といわれても、思い出せるものではありません。次のような方法を試してみましょう。

- ・いくつかの代表的な昆虫をこの原稿に載せました。それらを示しながら聞いてみましょう。各調査で最低限調査すべき種類として扱います。
- ・1960 年の際に調査された昆虫名を見せる。この時、昆虫図鑑などを持って行き、姿を見せるのが効果的でしょう。

(3) 記録

聞き取った内容をメモすればよいでしょう。場合によっては録音、ビデオ撮影など有効です。ただし、インタビューをした相手への人権的な配慮が必要ですので、了承をとりましょう。

(4) 調査用紙

各自のメモ程度でかまいませんが、「取材日」「取材相手」「性別」「年齢」「(出身) 地域 (市町村, 字まで)」などのうち、相手の了承をもらえらることを記録しておくとい良いでしょう。

HP 上にエクセル形式で用意してあるので、必要な人はダウンロードして、自分の調査にあわせて改変して構いません。

HP アドレス

(<http://shikagaku.synapse-blog.jp/top/>)

4. データの処理

鹿児島県立博物館の金井がデータのとりまとめを行い、全員の名前で鹿児島県立博物館研究報告書に投稿します。**取材データの提出〆切は2013年10月末日まで**とします。データの提出、また質問などが生じましたら、金井までご連絡下さい。

金井賢一 鹿児島県立博物館 〒892-0853 鹿児島市城山町1-1

電話) 099-223-6050 Fax) 099-223-6080

金井のメールアドレス viola-kk@po.synapse.ne.jp

5. 参考文献

1960年発行の動物方言名集は、鹿児島県立博物館のHPにpdf版で公開しています。「鹿児島県立博物館」で検索した後、以下の通り進んでください。

(鹿児島県立博物館 > 学芸室から > 昆虫の部屋)

増補改訂版：昆虫の図鑑 採集と標本の作り方 (南方新社) ¥3,500+税

6. 主な調査対象種

以下に示す昆虫については、ぜひ調査してください。その結果を地域ごとに示すことができれば、非常に有意義なまとめができあがります。



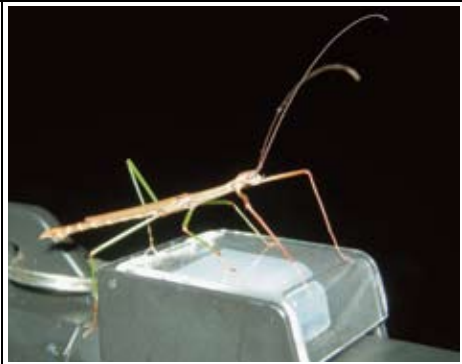
ヤンマの仲間



シオカラトンボの仲間



カマキリの仲間



ナナフシ



スズメバチ (中村京平撮影)



クマバチ



アゲハチョウの仲間 (菊川靖水撮影)



モンシロチョウ



セセリチョウの仲間



ミンミンゼミ
(ミンミンミンミーと鳴く)



クマゼミ
(シャシャシャシャと鳴く)



ヒグラシ
(カナカナカナ〜と鳴く)



ゴキブリの仲間



バッタの仲間



コオロギの仲間



ムカデ



カブトムシ



クワガタムシ (中村京平撮影)



網を張るクモの仲間 (中村京平撮影)



歩くクモの仲間

鹿児島県立博物館資料No.10 動物方名集 <1960年(昭和35年)発行>

注意) 目の名称や各科の分類などは、発行当時のまま記述した

番号	目・科名	和名	方言名
	総尾目		
1	いしのみ科	いしのみ	記述無し
2	しみ科	しみ	しよもつむし
	粘管目		
3	まるとびむし科	まるとびむし	記述無し
4	おびとびむし科	おびとびむし	記述無し
5	むらさきとびむし科	むらさきとびむし	記述無し
6	やぶとびむし科	やむとびむし	記述無し
	直翅目		
7	ばった科	こばねいなご	いなご, たか
8		つちいなご	いなご, たか
9		おんぶばった	たか(ばった総称)
10		しよりょうばった	たか(ばった総称)
11		とのさまばった	たか(ばった総称)
12		くるまばった	たか(ばった総称)
13	きりぎりす科	くつわむし	くたまつ, がちゃがちゃ
14		うまおいむし	すいっちょ
15		きりぎりす	すいっちょ
16	ころぎす科	ころぎす	記述無し
17	かまどうま科	かまどうま	ぎみ
18	こおろぎ科	えんまこおろぎ	ぎみ(こおろぎ総称)
19		おかめこおろぎ	ぎみ(こおろぎ総称)
20		まだらすず	ぎみ(こおろぎ総称)
21		くさひばり	ぎみ(こおろぎ総称)
22		かんたん	ぎみ(こおろぎ総称)
23		すずむし	すずむし
24		まつむし	まつむし, ちんちろりん
25		けら	おけら
26	ごきぶり科	さつまごきぶり	あまめ(ごきぶり総称)
27		くろごきぶり	あまめ(ごきぶり総称)
28		おおごきぶり	あまめ(ごきぶり総称)
29		ちゃばねごきぶり	かつのさね(かきのたね)
30	ななふしむし科	とげななふし	記述無し
31		ななふし	記述無し
32	かまきり科	おおかまきり	おんがめ(かまきり総称)
33		こかまきり	おんがめ(かまきり総称)
34		はらびろかまきりもどき	おんがめ(かまきり総称)
	革翅目		
35	はさみむし科	はさみむし	はさんむし
36		おおはさみむし	はさんむし
	ネ責翅目		
37	かわげら科	かわげら	記述無し
	等翅目		
38	しろあり科	いえしろあり	どっづし, ぢ(?)むし(しろあり総称)
39		さつましろあり	どっづし, ぢ(?)むし(しろあり総称)
40		やまとしろあり	どっづし, ぢ(?)むし(しろあり総称)
	紡脚目		
41	しろありもどき科	こけしろありもどき	どっづし, ぢ(?)むし(しろあり総称)
	嚙虫目		
42	ちゃたてむし科	こなちゃたてむし	こむし
43		ちゃたてむし	こむし
	食毛目		
44	たんかくはじらみ科	にわとりはじらみ	といため(とりじらみ総称)
45		にわとりおおはじらみ	といため(とりじらみ総称)
46	けものはじらみ科	うしはじらみ	記述無し
	虱目		
47	けものじらみ科	いぬじらみ	いんのしため, いんのしたん
48	ひとじらみ科	あたまじらみ	しため, したん

鹿児島県立博物館資料No.10 動物方名集 <1960年(昭和35年)発行>

注意) 目の名称や各科の分類などは、発行当時のまま記述した

番号	目・科名	和名	方言名
49	けじらみ科	けじらみ	けじらめ, とつしたん
カゲロウ目			
50	もんかげろう科	もんかげろう	記述無し
51	こかげろう科	ふたばかげろう	記述無し
蜻蛉目			
52	かわとんぼ科	はぐろとんぼ	かわぼい, ぼい(とんぼ総称)
53	いととんぼ科	いととんぼ	きんかんぼい(いととんぼ総称)
54	さなえとんぼ科	こおにやんま	かっなぼい
55	おにやんま科	おにやんま	かっなぼい, やまびんどろ(指宿)
56		みるんやんま	かっなぼい, やまびんどろ(指宿)
57		やぶやんま	かっなぼい, やまびんどろ(指宿)
58		ぎんやんま	こんぼい, じゃぼい
59	とんぼ科	しおやとんぼ	かわぼい
60		はらびろとんぼ	かわぼい
61		しおからとんぼ♂	かわぼい
62		しおからとんぼ♀	けいしぼい
63		しおからとんぼ	おけさぼい(脇田)
64		おおしおからとんぼ	けいしぼい
65		しょうじょうとんぼ	しゅぼい
66		こしあきとんぼ	まんじゅぼい
67		うすばきとんぼ	おしよろさんぼい, あけじ
68		こふきとんぼ♂	こめんぼい
69		こふきとんぼ♀	あわんぼい(脇田)
70		はっちょうとんぼ	記述無し
半翅目			
71	かめむし科	くろかめむし	ふ(かめむし総称)
72		あおかめむし	ふ(かめむし総称)
73		ほおづきかめむし	ふ(かめむし総称)
74	あめんぼ科	あめんぼ	あめんちゃんぐりん, かわぐも
75	とこじらみ科	とこじらみ	なんきんむし, とこむし
76	たがめ科	たがめ	記述無し
77	たいこうち科	たいこうち	記述無し
78		みずかまきり	記述無し
79	まつもむし科	まつもむし	記述無し
80	みずむし科	みずむし	記述無し
81	せみ科	にいにいぜみ	せつ(セミ総称)
82		あぶらぜみ	あかせつ
83		くまぜみ	くませつ
84		ひぐらし	ひぐらし, かなかな
85		つくつくぼうし	つくつくぼうし, つくつくむし, つくつくしよ
86		はるぜみ	せつ, まつむし
87		みんみんぜみ	せつ
88	おおよこばい科	おおよこばい	しゃべ, むかむし(ヨコバイ・ウンカの総称)
89	みみずく科	みみずく	しゃべ, むかむし
90	よこばい科	さじよこばい	しゃべ, むかむし
91	うんか科	とびいろうんか	しゃべ, むかむし
92	あぶらむし科	あぶらむし	ぬい(あぶらむし総称)
月永(脈)翅目			
93	へびとんぼ科	へびとんぼ	
94	くさかげろう科	くさかげろう	
95	つのとんぼ科	つのとんぼ	つのとんぼ
96	うすばかげろう科	うすばかげろう	もっこつこ(幼虫), うどんげ(卵)
長翅目			
97	しりあげむし科	しりあげ	記述無し
98		べっこうしりあげむし	記述無し
毛翅目			
99	とびけら科	あみめとびけら	記述無し
鱗翅目			

鹿児島県立博物館資料No.10 動物方名集 <1960年(昭和35年)発行>

注意) 目の名称や各科の分類などは、発行当時のまま記述した

番号	目・科名	和名	方言名
100	きばが科	ばくが	ほい
101	めいが科	あわのめいが	ずいむし
102		いつてんほめいが	ずいむし
103	いらが科	いらが	いらむし
104	かのこが科	かのこが	が
105	はまきが科	ちゃのはまき	が
106	あげはもどき科	あげはもどき	が
107	しゃくが科	とんぼえだしゃく	しゃつといむし(幼虫)(えだしゃく幼虫の総称)
108		うめえだしゃく	しゃつといむし(幼虫)(えだしゃく幼虫の総称)
109		くわえだしゃく	しゃつといむし(幼虫)(えだしゃく幼虫の総称)
110	まだらが科	さつまにしき	記述無し
111	やが科	たばこが	たばこむし
112		どもえが	記述無し
113		あげびこのは	記述無し
114	かいこが科	かいこが	けごんちゅちゅ
115		くわご	記述無し
116	かれはが科	まつかれは	まっぱむし(幼虫)
117	どくが科	どくが	記述無し
118	すずめが科	めんがたすずめ	ほこれつつ, いもむし(幼虫)
119		えびがらすずめ	ほこれつつ, いもむし(幼虫)
120		せすぢすずめ	いもむし(いもむし・すずめが幼虫総称)
121		こすずめ	いもむし(幼虫)
122	せせりちょう科	ちゃばねせせり	ちゅちゅ, つつ(蝶類総称)
123		いちもんじせせり	ちゅちゅ, つつ(蝶類総称)
124		きばねせせり	記述無し
125		あおばせせり	記述無し
126		おそばせせり	記述無し
127		だいめうせせり	記述無し
128		くろせせり	記述無し
129	あげはちょう科	あおすじあげは	記述無し
130		あげは	ほこれつつ, おやつ
131		きあげは	ほこれつつ, おやつ
132		ながさきあげは	ほこれつつ, おやつ
133		からすあげは	ほこれつつ, おやつ
134		くろあげは	ほこれつつ, おやつ
135		もんきあげは	ほこれつつ, おやつ
136		みかどあげは	ほこれつつ, おやつ
137	しろちょう科	きちょう	きちゅちゅ
138		もんきちょう	きちゅちゅ
139		つまべにちょう	記述無し
140		もんしろちょう	ちゅちゅ, つつ
141	しじみちょう科	つはめしじみ	ちゅちゅ, つつ(蝶類総称)
142		さつましじみ	ちゅちゅ, つつ(蝶類総称)
143		べにしじみ	ちゅちゅ, つつ(蝶類総称)
144		やまとしじみ	ちゅちゅ, つつ(蝶類総称)
145		むらさきしじみ	ちゅちゅ, つつ(蝶類総称)
146		むらさきつばめ	ちゅちゅ, つつ(蝶類総称)
147		るしじみ	ちゅちゅ, つつ(蝶類総称)
148		うぎんしじみ	ちゅちゅ, つつ(蝶類総称)
149		きりしまみどりしじみ	ちゅちゅ, つつ(蝶類総称)
150		やくしまるしじみ	ちゅちゅ, つつ(蝶類総称)
151	まだらちょう科	あさぎまだら	ちゅちゅ, つつ(蝶類総称)
152	たてはちょう科	ひょうもんちょう	ちゅちゅ, つつ(蝶類総称)
153		うらぎんひょうもん	ちゅちゅ, つつ(蝶類総称)
154		ひおどしちょう	ちゅちゅ, つつ(蝶類総称)
155		るりたては	ちゅちゅ, つつ(蝶類総称)
156		あかたては	ちゅちゅ, つつ(蝶類総称)
157		きたては	ちゅちゅ, つつ(蝶類総称)

鹿児島県立博物館資料No.10 動物方名集 <1960年(昭和35年)発行>

注意) 目の名称や各科の分類などは、発行当時のまま記述した

番号	目・科名	和名	方言名
158		いしがけちょう	ちゅちゅ、つつ(蝶類総称)
159	じゃのめちょう科	じゃのめちょう	ぜんちゅちゅ(じゃのめちょう総称)
160		くろひかけ	ぜんちゅちゅ(じゃのめちょう総称)
161		きまだらひかけ	ぜんちゅちゅ(じゃのめちょう総称)
162		ひめじゃのめ	ぜんちゅちゅ(じゃのめちょう総称)
163		このまちょう	ぜんちゅちゅ(じゃのめちょう総称)
膜翅目			
164	すずめばち科	すずめばち	くまばっ
165		ふたもんあしながばち	てながばっ
166		ほそあしながばち	てながばっ
167	ちがばち科	じがばち	じがばっ、じばっ、いな(指宿)
168	みつばち科	くまばち	くまばっ
169		みつばち	みつばっ
170	あり科	きいろしりあげあり	すあい、じあい(あり総称)
171		いえひめあり	すあい、じあい(あり総称)
172		あめいろあり	すあい、じあい(あり総称)
173		くろおあり	すあい、じあい(あり総称)、くれずあい
双翅目			
174	か科	はまだらか	か(総称)
175		あかいえか	か
176		おおくろやぶか	やまが
177		やまとはまだらか	記述無し
178	ががんぼ科	きりうじががんぼ	記述無し
179	ぶゆ科	おおぶゆ	ぶと(ぶゆ総称)
180		あしまだらぶゆ	ぶと(ぶゆ総称)
181	あぶ科	あかあぶ	あっ(あぶ総称)
182		うしあぶ	あっ(あぶ総称)
183	むしひきあぶ科	しおやあぶ	あっ(あぶ総称)
184	ひらたあぶ科	はなあぶ	あっ(あぶ総称)
185	いえばえ科	いえばえ	へ(はえ総称)
186	にくばえ科	にくばえ	くそべ
187	うしばえ科	うしばえ	うしべ
188	うまばえ科	うまばえ	うまべ
189	くろばえ科	くろばえ	へ、きんべ
190		きんばえ	きんべ
隠翅目			
191	のみ科	ひとのみ	のん
192		ねこのみ	ねこのん
鞘翅目			
193	たまむし科	たまむし	おだま
194		さつまうばたまむし	めだま
195		うばたまむし(おばたまむし)	めだま
196	こめつきむし科	おおさびこめつき	こめつつむし、きちんむし(こめつき総称)
197		くしこめつき	こめつつむし、きちんむし(こめつき総称)
198	くわがたむし科	みやまくわがた	はさんむし
199		のこぎりくわがた	はさんむし
200		おおくわがた	はさんむし
201	かみきりむし科	くわかみきり	かんきいむし(わらきいむし、つのむし(幼虫))
202		とらふかみきり	かんきいむし(わらきいむし、つのむし(幼虫))
203		のこぎりかみきり	かんきいむし(わらきいむし(かみきりむし総称))
204	おさむし科	ほそくびごみむし	へひいむし、へひつかぶいむし
205		みいでらごみむし	へひいむし、へひつかぶいむし
206		まいまいかぶり	へひいむし、へひつかぶいむし
207	はんみよう科	はんみよう	みちあおしえ、みちしるべ
208	まめはんみよう科	まめはんみよう	記述なし
209	ちびしでむし科	くろしでむし	記述なし
210	はむし科	るりはむし	記述なし
211		うりはむし	すいむし

鹿児島県立博物館資料No.10 動物方名集 <1960年(昭和35年)発行>

注意) 目の名称や各科の分類などは、発行当時のまま記述した

番号	目・科名	和名	方言名
212	ぞうむし科	こぶきぞうむし	こめむし
213		こくぞう	こめむし
214	ほたる科	げんじぼたる	ほたる, かわほたる(指宿)
215		へいけぼたる	ほたる, たんぼほたる(指宿)
216	こがねむし科	こがねむし	あぶらむし(こがねむし総称)
217		まめこがね	あぶらむし(こがねむし総称)
218		はなむぐり	あぶらむし(こがねむし総称)
219		かなぶん	あぶらむし(こがねむし総称)
220	みずすまし科	みずすまし	ぎいぎいめ, ぎいぎいも
221		おおみずすまし	ぎいぎいめ, ぎいぎいも
222	げんごろう科	げんごろう	げんごろ
223	てんとうむし科	ななほしてんとうむし	てんとむし(てんとうむし総称)
224		てんとうむし	てんとむし(てんとうむし総称)
225		あかほしてんとう	てんとむし(てんとうむし総称)
226	かつおぶしむし科	とびかつをぶしむし	記述なし